

編集後記

今年度も、数少ないスタッフの中で本学の学術・研究成果を昨年に引き続き、ここに研究紀要第8号としてまとめ発行できたことは大きな喜びであり、ご協力頂いた方々に対し厚く御礼申し上げます。

研究紀要第8号は、課題研究論文、自由研究論文、研究報告、アカデミックアワー研究報告、参考文献・資料紹介から成っている。

まず、課題研究論文として競技スポーツ学科からは、昨年度発行の第7号よりの「勝つこと」を共通テーマとし、今年度は「トップアスリートの育成」について、コーチング、スポーツ心理学、アスレティックトレーナーの観点から本学テニス部の事例を基に3篇の論文を執筆した。生涯スポーツ学科からは、「生涯スポーツを通じた地域貢献」をテーマに、執筆者各々の活動事例を基に3篇の論文を執筆した。

自由研究論文については紀要編集規程に基づく慎重な査読・審査の結果、スポーツ学の各分野からバラエティーに富む4篇の論文が採択され掲載に至っている。

研究報告は4篇の論文を掲載し、昨年度から学内で行われているアカデミックアワーでの発表内容を、一人2枚にまとめアカデミックアワー研究報告として18篇を掲載した。

最後に参考文献・資料紹介として2篇を掲載し、研究紀要第8号は大変ボリュームのある1冊として仕上がっている。

なお、投稿原稿については下記の方々に査読をお願いした。忙しい中、査読をお引き受け頂いた方々に、厚く御礼を申し上げる次第である。

本委員会では、今後、研究紀要のさらなる充実と発展を図るための活動に取り組んでいく所存である。第8号に対する忌憚のないご意見をいただければ幸いである。

査読者氏名

金森雅夫、渋谷俊浩、Steve Jugovic、高橋佳三、林綾子、的地修、若吉浩二

紀要編集委員会委員長 若吉 浩二